

若手社員リフレッシュ研修開催



9月9日、9月12日の両日、前橋市・前橋商工会議所会館において、若手社員リフレッシュ研修を開催した。

本研修は、今後の成長が期待される若手社員を対象に、社会人としての自覚の喚起と第一線で活躍できる能力を身に付けることを第一義として毎年開催している。

今回は、県内企業より2日間で計86名の参加者を対象に、経営教育コンサルタントの雨宮利春氏が、グループワークやロールプレイング等を取り入れながら研修を行った。

研修では、「指示待ち人間」から「自律型人材」への意識変革を図ることを中心テーマに、「組織人」としての役割、仕事を主体的かつ



雨宮利春氏

効率的にこなすノウハウ、日頃見落としがちなマナー、良好な人間関係を構築する秘訣等、新入社員がスキルアップを図っていく上で、基本的かつ重要な内容について解説を行った。

雨宮氏は、プロジェクターを駆使して視覚的效果を高めることにより、参加者の理解を深めるとともに、グループ討議や実習を織り交ぜながら、社会人として必要な素養について、ユーモアあふれる語り口でわかりやすく説明した。



マナーの基本となる挨拶を学ぶ参加者

参加者からは、「雨宮先生の話が分かりやすく、スムーズに理解することができた」、「違う業界の方の話を聞き、見識を深める良い機会になった」との声が寄せられた。

研修終了後には、参加者全員に本会馬場伸一指導部長より、受講修了証書を手渡した。



修了証書授与式の様子

◎研修会を終えて

研修内容は、挨拶等のマナーから仕事に対する姿勢に至るまで幅広いものでした。参加者の方々が、仕事への取組み方等について見詰め直す研修会になったのではないのでしょうか。

官公需確保対策地方推進協議会開催

官公需における中小企業・小規模事業者向けの契約目標額は3兆8,791億円

《平成28年度に新たに講ずる主な措置》

- ① **中小企業・小規模事業者向け契約目標**
今後、中小企業庁が、契約の実績比率が大きく低下している機関等に対して、改善に向けた取組を聴取する。
- ② **熊本地震の被災地中小企業・小規模事業者に対する配慮**
官公需契約において、適正な納期・工期の設定及び迅速な支払、地域中小企業の適切な評価及び適切な予定価格の作成等の措置を講ずる。
- ③ **中小建設業者に対する配慮**
必要な工期を確保するための国庫債務負担行為の活用等により、施工時期の平準化を図るなど、特段の配慮を払う。
- ④ **低入札価格調査制度の適切な活用等**
地方公共団体の役務等の発注に際し、ダンピング受注防止の観点から、低入札価格調査制度、最低制限価格制度等の適切な活用が促進されるよう努める。
- ⑤ **新規中小企業者の活用に関する事項**
「ここから調達サイト」の運営において、新規中小企業者の受注機会の増大を図るため必要な情報提供の充実に努める。

9月9日、前橋市・群馬県庁において官公需確保対策地方推進協議会が開催され、発注側の行政や受注側の協同組合等より37名が出席した。本協議会は、本年8月2日に閣議決定された「平成28年度中小企業者に関する国等の契約の基本方針」の周知を主目的としている。

まず、関東経済産業局産業部中小企業課計画係長高城麻衣氏が基

本方針等について説明。今年度、新たに講ずる主な措置は左記のとおりであると述べた。

- ① 中小企業向け発注率90%目標設定、② 県内企業への優先発注、③ 公共事業費の増額、④ 公共事業
- 続いて、群馬県産業経済部産業政策課八木則之補佐（企画調整係長）が、群馬県の平成28年度産業支援総合対策の重点項目のひとつである官公需確保対策支援について、① 中小企業向け発注率90%目標設定、② 県内企業への優先発注、③ 公共事業費の増額、④ 公共事業



説明を行う高城係長

等の早期発注・平準化を掲げており、全庁的に連携して取り組んでいると述べた。

また、本会場場伸一指導部長が本会の官公需関連事業等を説明。県内で官公需適格組合の証明を受けているのは25組合であると述べ、発注者に対して、「国等の契約の基本方針」の理解と官公需適格組合をはじめとする中小企業組合の積極的な活用を求めた。

◎協議会を終えて

共同受注は、組合の中心的事業のひとつです。組合員の受注機会の確保・増大につながる官公需対策の実効ある運用を求めます。

群馬県中小企業団体事務局長会 夏季研修会



研修会風景



北角友和氏

群馬県中小企業団体事務局長会（田部井俊勝会長、43会員）は、9月9日、みなかみ町・上牧温泉「辰巳館」において夏季研修会を開催した。

事務局長会とは、中小企業団体の事務局責任者・職員の方々を幅広く対象とし、研修・情報交換会

や親睦・福利を図り、団体運営に寄与することを目的とした団体である。

今回、事業の一環として開催した夏季研修会では、館林行政県税事務所主幹・気象予報士の北角友和氏が「お天気出前講座〜天気予報のウラ側伝えます〜」をテーマに講演を行った。

北角氏は、普段耳にする機会の多い身近な気象の言葉や、天気予報などで使っていない言葉の解説、台風情報の正しい見方、アメダスの分布状況等について説明を行い、参加者は普段聞くことのできないウラ側を興味深く聞き入った。

研修終了後、懇親会を開催。田部井会長が主催者挨拶を行った後、商工中金次長寺西英明氏が乾杯の発声を行った。囲炉裏を囲み、厳選された伊達鶏や和牛を炭火で味わう「炭火山里料理」を堪能し、和やかな雰囲気の中、親睦を深めた。

◎研修会を終えて

天気予報など普段目にする機会が多いものでも、知っているようで知らない事が多いのだと実感しました。